# 知識集約型社会における 文理融合教育の意義と価値

「知識集約型社会を支える人材育成事業」　令和３年度成果発信シンポジウム
～社会共創を通した人材育成モデル構築を目指して～

2022年3月1日

国立大学法人金沢大学長　山崎光悦



- 金沢大学の概要と我が国の現況
- なぜ今，文理融合教育が必要か？
- 異分野融合に向けた金沢大学の先導的取組み

# 金沢大学の概要と我が国の現況





## 金沢大学基礎データ （令和３年５月１日現在）

- **所在地（本部）** 石川県金沢市角間町
- **キャンパス面積 約２５７万㎡**
  角間キャンパス 約２００万㎡
  宝町・鶴間キャンパス 約１５万㎡

- **学生数** **１０，１１１人**

| | |
|---|---|
| 学域 | ７，７７３人 |
| 大学院（博士課程前期・修士課程） | １，２９８人 |
| 大学院（博士課程後期・博士課程） | ９４４人 |
| 大学院（専門職学位課程） | ５９人 |
| 養護教諭特別別科 | ３７人 |

- **学域入学者数** **１，７６４人**
  （北陸３県出身 ４３．７％）
- **学域卒業者数** **１，７６８人**
  **累計** **９６，６０９人**
  **学士課程卒業者の約３１％が大学院へ進学**

- **教職員数** **２，８７４人**

| | |
|---|---|
| 役員 | １０人 |
| 常勤職員 | ２，８６４人 |
| 大学教員 | １，２３０人[*1] |
| 附属学校教員 | １０６人 |
| 事務職員 | ４４７人 |
| 技術職員 | １，０８１人[*2] |

*1 特任教員を含む。 *2 看護師を含む。
（他，非常勤職員 １，１０３人）

- **附属学校**
  **幼児・児童・生徒数 １，６４３人**

- **予算額 ６０，６２２百万円**（令和３年度）
- **外部資金 ６，２８１百万円**（令和２年度実績）

- **学術論文被引用数**（2011.1-2021.2）**１６２，００４件**
  **： 国内大学18位，世界1001位**
  **薬学・毒性学分野国内8位 地球科学分野 国内10位**
  **神経科学・行動科学分野国内10位**

# 金沢大学の歴史

1862年（文久２年） 加賀藩彦三種痘所の開設 *～医学系の源流（国立大学で３番目の歴史）～*

1887年（明治20年） 第四高等中学校の設置→1894年（明治27年）第四高等学校に改称 *～人文社会系・理工系・医系の母体～*

西田幾多郎，鈴木大拙，井上靖，中野重治らの哲学者・文学者をはじめ木村栄，中谷宇吉郎らの科学者，高安右人，岡本肇ら医学研究者らが学んだり，教鞭をとったりした。

新制金沢大学誕生の地（金沢城公園）
"お城の中の大学"

1898年（明治31年） 師範学校の流れを石川県師範学校として集約 *～教育学系の礎～*

1920年（大正９年） 金沢高等工業学校設置 *～工学系の源流～*

1946年（昭和21年） 北陸総合大学設置期成同盟の発足 *～旧帝大並みの総合大学への展望～*

1949年（昭和24年） 新制金沢大学の設置 *～法文・教育・理・医・薬・工の6学部～*

1989年（平成元年） 角間への総合移転開始 *～キャンパス新天地へ～*

1993年（平成５年） 大学院社会環境科学研究科(博士課程)設置 *～全ての研究領域で大学院博士課程を設置。研究大学としての体制を整備～*

2004年（平成16年） 国立大学法人金沢大学設立 *～大学法人化としての新時代へ～*

2008年（平成20年） 学部学科制から学域学類制へ改組 *～柔軟な学びのシステムを導入～*

人間社会学域　理工学域　医薬保健学域

**2014年学長就任 YAMAZAKIプラン 改革Start!**

2018年（平成30年） 3学域16学類から3学域17学類へ再編 *～時代や社会のニーズに応えるための新たなスタート～*

大学院新学術創成研究科 融合科学共同専攻を設置 *～異分野融合で科学技術イノベーション人材を養成～*

2021年（令和３年） 新たな学域・学類を設置 *～"新たな知を創出する人材"の育成を加速～*

融合学域　人間社会学域　理工学域　医薬保健学域



# 教育・研究組織の柔軟な見直し ～ R4.4.1時点～

## 教育組織

大学院 **研究科**

**人間社会環境研究科**（65）
- 博士前期課程
  - 人文学専攻
  - 経済学専攻
  - 地域創造学専攻
  - 国際学専攻
- 博士後期課程
  - 人間社会環境学専攻

**法学研究科**（23）
- 修士課程
  - 法学・政治学専攻
- 専門職学位課程
  - 法務専攻

**教職実践研究科**（15）
- 専門職学位課程
  - 教職実践高度化専攻

**自然科学研究科**（553）
- 博士前期課程
  - 数物科学専攻
  - 物質化学専攻
  - 機械科学専攻
  - フロンティア工学専攻
  - 電子情報通信学専攻
  - 地球社会基盤学専攻
  - 生命理工学専攻
- 博士後期課程
  - 数物科学専攻
  - 物質化学専攻
  - 機械科学専攻
  - 電子情報科学専攻
  - 環境デザイン学専攻
  - 自然システム学専攻

**医薬保健学総合研究科**（227）
- 修士課程
  - 医科学専攻
- 博士前期課程
  - 創薬科学専攻
  - 保健学専攻
- 博士課程（４年制）
  - 医学専攻
  - 薬学専攻
- 博士後期課程
  - 創薬科学専攻
  - 保健学専攻

**先進予防医学研究科**（12）
- 博士課程
  - 先進予防医学共同専攻

**新学術創成研究科**（40）
- 博士前期課程
  - 融合科学共同専攻
  - ナノ生命科学専攻
- 博士後期課程
  - 融合科学共同専攻
  - ナノ生命科学専攻

学士 **学域・学類**

**融合学域**（70）
- 先導学類
- 観光デザイン学類 New

**人間社会学域**（668）
- 人文学類
- 法学類
- 経済学類
- 学校教育学類
- 地域創造学類
- 国際学類

**理工学域**（599）
- 数物科学類
- 物質化学類
- 機械工学類
- フロンティア工学類
- 電子情報通信学類
- 地球社会基盤学類
- 生命理工学類

**医薬保健学域**（384）
- 医学類（６年制）
- 薬学類（６年制）
- 医薬科学類
- 保健学類

**国際基幹教育院**
- 総合教育部

## 研究（教員）組織

**研究域・系**

**融合研究域**
- 融合科学系

**人間社会研究域**
- 人間科学系
- 歴史言語文化学系
- 法学系
- 経済学経営学系
- 学校教育系

**理工研究域**
- 数物科学系
- 物質化学系
- 機械工学系
- フロンティア工学系
- 電子情報通信学系
- 地球社会基盤学系
- 生命理工学系

**医薬保健研究域**
- 医学系
- 薬学系
- 保健学系

**研究所 機構 ｾﾝﾀｰ 病院 等**

- がん進展制御研究所
- ナノ生命科学研究所
- ナノマテリアル研究所
- 設計製造技術研究所
- 高度ﾓﾋﾞﾘﾃｨ研究所
- 新学術創成研究機構
- 先端科学・社会共創推進機構
- 環日本海域環境研究センター
- 国際基幹教育院
- 附属病院

等

：学長就任以降に新設した組織
：学長就任以降に改組・再編等した組織

# 基本理念に基づく金沢大学の目標

金沢大学

**金沢大学憲章（2004年（平成16年）制定）**

基本理念

**“地域と世界に開かれた教育重視の研究大学”**
**“東アジアの知の拠点”**

**グローバル人材育成のための教育改革**
**研究力強化**
**徹底した国際化**

**地域と共に，地域に愛され，世界に輝く大学へ**

■大学の取組み３つの柱■

**教　育**　**研　究**　**社会貢献**



# 金沢大学の戦略

金沢大学

**北陸に立地する国立大学である金沢大学が我が国の持続的発展に向けて何をすべきか？**

【課題認識 2014年当時】
⇒ 教育のグローバル化の立ち遅れ
⇒ 領域を融合した組織的な研究，グローバル課題解決に係る研究が不十分
⇒ 大型競争的資金の獲得が他の有力大学と比べ，見劣りする

【課題解決の方向性】
**“強み”“特色”を核に，社会が求める課題解決や新技術の創出等，ターゲット（創出する知）を特定**
**戦略的・組織的に実行に移す抜本的な大学改革のスピーディーな展開**
**“金沢大学ブランド”の構築による「ひと」「資本」の流動を起こす**

学長就任に際して取りまとめた「YAMAZAKIプラン2014」（17のVision 56のSubject）を基に大学改革を推進

**第３期中期目標・中期計画**

◆平成28年度～令和３年の６年間の目標と計画
（文部科学省の提示・認可）
教育研究のあらゆるシステムを徹底的に国際化

**予算要求上の財政戦略**

◆文部科学省に予算要求を行う上で金沢大学が示す中期目標期間の６年間を通したビジョンと取組
金沢大学は予算要求上の枠組みとして
重点支援③（世界卓越型）を選択

☞ 目標，戦略，施策などを総合的に見直し，新たな改革の行動計画としてYAMAZAKIプラン2016を策定

**YAMAZAKIプラン2016**（14のVision 43のSubject）
～超然として世界に輝く真の「グローバル大学」を目指して～

☞ 自己点検結果や産業構造・社会的要請の変化を踏まえ，新YAMAZAKIプラン2018を策定

**新YAMAZAKIプラン2018**（13のVision 34のSubject）
～革新を追い風に，世界を牽引する国際的な教育研究拠点へ～

☞ 社会システムの大変革を視野に，第4期中期目標期間への架け橋となるYAMAZAKIプラン2020 Next Stageを策定

**YAMAZAKIプラン2020 Next Stage**（12のVision 25のSubject）

- **金沢大学における“大学改革の指針”**
- **機能強化に係る改革の具体化に向けた“行動計画”**

「YAMAZAKIプラン」を大学改革のエンジンとしつつ，第３期中期目標期間における更なる機能強化を目指し，教育改革（人材育成）・研究力強化・国際化・社会貢献・病院改革・ガバナンス強化等に関する取組や計画，指標を掲げて，改革を推進

# 世界及び我が国の課題と大学が果たすべき役割・機能

金沢大学 KANAZAWA UNIVERSITY

**国立大学は，研究により現代の課題を解決し，教育によって育成された人材が未来を形作るとの認識を基盤に，「知識基盤社会の発展」と「科学技術が牽引する未来創成」にもてる総力を挙げて取組む。**

◆世界では

・新型コロナウイルス感染症により複合的な課題が浮き彫りに

| | |
|---|---|
| 人口と食料・水 | 経済競争と経済格差 |
| エネルギーと環境汚染 | 地球環境と疾病 |

など

・複合的な原因が，さらに多様な問題を生み出す状況

◆我が国では

・課題先進国として解決しなければならない諸課題

| | |
|---|---|
| 少子・高齢化 | 地域，地方都市の衰退 |
| 首都圏一極集中 | ものづくり産業の衰退 |
| 工業文明の終焉 | 震災復興と国土強靭化 |

など

・グローバル化への戸惑い，Society 5.0の実現，DXの遅れ等への対応が急務

*根本的な解決には*

- **様々な壁，境界，断絶を超えた努力と「知の総動員」による「知識集約型社会」の創造**
- **新たな科学と技術，歴史と地理の公平な理解，哲学に基づいた法理や心理の視座等の協業が重要**

**【国立大学が総体として担っている様々な役割】**

- ✓ 世界最高水準の研究・教育の実施
- ✓ 重要な学問分野の継承・発展
- ✓ 知の循環と社会への還流
- ✓ 全国的な高等教育の機会均等の確保
- ✓ 新たな価値を創造し，地域の発展や社会基盤の構築を先導する人材を育成・輩出
- ✓ 地方創生の中核として地域・産業界と連携し多様な社会課題に対応

**【人類社会のさらなる発展に向け必要な役割・機能】**

**地球規模の課題解決への役割**

- ✓ 気候変動，地球温暖化抑制
- ✓ エネルギー生産・消費技術革新研究
- ✓ カーボンニュートラル
- ✓ 食料・水
- → SDGｓ
- → グリーン・リカバリー

**人類が直面する課題解決への役割**

- ✓ 人のwell-being
- ✓ 新興・再興感染症の制御
- ✓ がん，脳・血管疾病等のコントロール

**未来社会への対応とAI人材育成への役割**

- ✓ デジタル技術を駆使した教育・研究・社会貢献の機能，Society 5.0
- ✓ データ駆動型研究等の新たな研究手法を支える人工知能（AI）技術，ビッグデータ解析に長けた人材育成の中核機能

**地方創生への役割**

- ✓ 地方創生の中核としての人材育成（医療従事者を含む）
- ✓ 地域の産業界の発展
- ✓ 少子高齢社会対応



# 地方創生における国立大学の役割

金沢大学 KANAZAWA UNIVERSITY

## 世界水準の研究力を核に，地域の特色を活かした経済の活性化，地方創生，復興に向けた研究展開

① 様々な機関・組織が総力を挙げて**協働**し，**社会変革・地方創生**を行うために
⇒ 地方に立地する“知”の拠点として**“プラットフォームを構築”**し，その中核を担う必要性

② **社会変革・地方創生を先導**するために
⇒ 世界と地方との“知”の還流を促し，地域特性や特色・強みを活かした先進的な研究をさらに強化し，産学官金連携・協働による**“社会実装”**で地域の**“イノベーション創出”“産業振興・創成”**が必要。

## 世界的な視野を有しつつ，地域に根差し，地方におけるイノベーション創出を担う人材の育成

③ 自主的・自律的かつ，**持続的な社会変革・地方創生**のために，社会変革・地方創生を担う恒常的な**“人材の育成”**や**“人材の集積”**が最重要であるという認識の下，
⇒ 新たな知の創出には，人間力にも通ずる洞察力・分析力・判断力に加え，**文理融合の発想力育成，アントレプレナーシップ教育**による課題解決能力などを早期に醸成する必要がある。そのための組織的なアクティブラーニング手法を重視した**STEAM人材育成教育**のさらなる強化が必要である。
⇒ 高水準の研究力と地域資源の独自性を基盤に，**“サイバー空間での集中化”**，オンライン教育の利点を活用して，対面授業・体験型授業併用型教育への改変等，**自律的な学びを支え導く大胆な教育改革**を行う必要がある。

## 研究展開・人材育成に向けた経営・運営

④ **社会変革・地方創生**に向けた**研究展開・人材育成**を持続的に行うために
⇒ 新型コロナの蔓延等，社会が大きく変動する中，学長のリーダーシップの下，中長期的な視点により，これまでの枠組みを超えた大胆な**“戦略的な経営・運営の改革”**が必要である。

※ 地域が有する**歴史・文化・風土**等を**地方創生に最大限活用**。コロナ禍において大学病院が地域医療の最後の砦に！
高度医療人材の育成や診療等のAI化・ICT化等，その機能強化が急務！

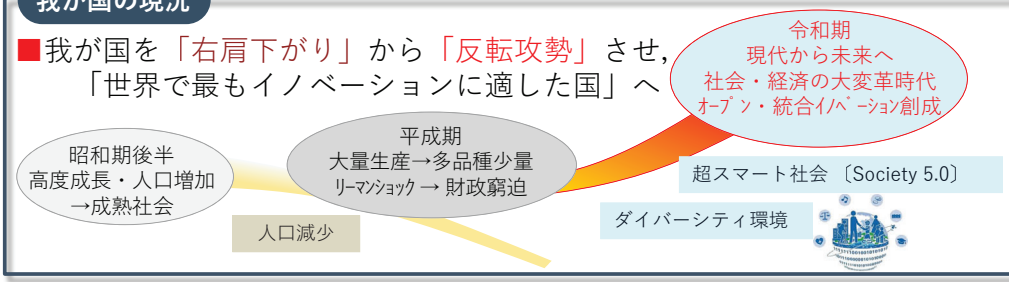
# なぜ今，文理融合教育が必要か





**我が国の現況**

■我が国を「右肩下がり」から「反転攻勢」させ，
「世界で最もイノベーションに適した国」へ




■あらゆる意味で社会が変容し，
従来の知識，制度，方法等が
国力の維持や強化に耐えられ
なくなりつつあり，
多様な脅威にさらされる立場
となった。

**◆ 日本の経済力低下，成長の停滞！**
- ものづくり企業中心に海外展開するも負けが続く，失われた20年・・・
- 右肩下がりの日本経済，将来の成長が？の日本・・・**どうやって成長モデルを構築するか？**

**◆ 少子高齢化！東京一極集中と地方消滅？**
- 地方都市のほとんど全てが１８歳人口減少都市に，都会の大学に進学する若者の就職時Ｕターン率
- 都会で結婚しない・できない若者，田舎もどんどん同じに・・・**ようやく地方創生の施策が講じられつつある！**

**◆ 第4次産業革命と消え行く職種！ COVID-19が地方分散を加速**
- IoT，ドイツのIndustry4.0，日本のSociety5.0（超スマート社会）
- ビッグデータ，数理科学，ＡＩによって変貌する未来，多くの単純労働，経験知がものをいう職業もＡＩに取って代わられ，消え行く職種が多数・・・**仕事のパラダイムシフト，ＡＩにやらせる業務創出！ コロナ禍で加速！**

**◆ 自分の未来が描けない大学生！**
- 就業，社会に貢献したい若者が大多数・・・・でも親の期待も大きく！
- 有名大学を出て，一流企業に就職すれば，幸せな人生が送れる筈，と言う幻想・・・
- もはや親の描く昭和の成功モデルは通用しない！・・・**世の中を変革する尖った人財，イノベータ待望論！**

**地域を支える人材，新たな知を創出するイノベーション人材の養成**

# 日本のイノベーション力弱体化の原因は？

金沢大学 KANAZAWA UNIVERSITY

**常識を覆す技術的ブレークスルーの壁**

**技術重視の日本製品のデザイン力の欠如，顧客満足度を最大にする製品開発力の不足**

要素技術 より システム技術！の圧倒的な重要性

**若者，技術者，現場の挑戦的提案を受入れる経営陣のリーダーシップ**

**大きな組織体になればなるほど，指導者・トップのリスク回避傾向**

世界の一歩前をリードする新製品開発への先行投資の勇気と経営判断が必要

**クローズドイノベーションがもたらす製品要件の追究不足**

**ハード＋ソフト，モノ＋こと，モノ造り＋サービス工学　の視点の不足，欠如**

オープンイノベーションをベースに据えたクローズドイノベーションへの転換

若い非常識なトライアル，ビジネス提案を後押しするベンチャー育成

**シリコンバレー，深圳，イスラエルの発展を肌で感じて・・・**



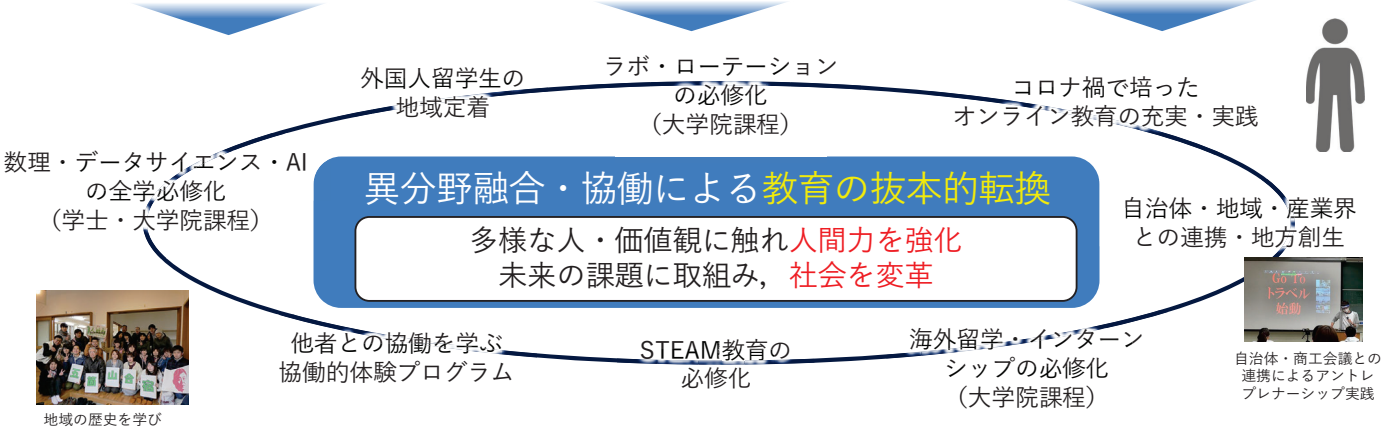
# 分野の壁を打破するイノベーション人材が必要

金沢大学 KANAZAWA UNIVERSITY

**蛸壺化，ｶﾞﾗﾊﾟｺﾞｽ化する日本の教育**
- 研究室の学生の囲い込みからの脱却
- 異分野・異学年の集団による協働
- 「学び」のフリーアドレス

**Society 5.0に向けた人材育成**
- 文理分断教育からの脱却
- 情報科学や AI に関する高度な知識とスキルをもった人材が必要
- 人間力の強化（突破力，牽引力，課題解決力）

**文理・分野の枠の開放**
- 所属の枠を超えたプログラムの拡大
- 授業時間（時間割），空間移動の制限にとらわれない受講の自由度向上






地域の歴史を学び
民泊による他者との
協働を学ぶ学長合宿




自治体・商工会議との
連携によるアントレ
プレナーシップ実践

## 文理融合の知識を基にイノベーションをリード

従来の常識や殻を打ち破り，社会を変革し，新しい未来を切り拓く人材，社会を創造する人材の輩出が必要。地域そして世界を舞台に新風を吹き込む人材を輩出し，金沢大学は「地域と世界に開かれた教育重視の研究大学」としての使命を果たしていきます。

# 異分野融合に向けた金沢大学の先導的取組み





## KUGSに基づく共通教育（教養教育）の実施 H26～

**金沢大学憲章で掲げる教育目標** **専門知識と課題探求能力，さらには国際感覚と倫理観を有する人間性豊かな人材の育成**

具体化

**金沢大学＜グローバル＞スタンダード（KUGS）**

人類の一員としての自己の使命を国際社会で積極的に果たし，知識集約型社会の中核的なリーダーとなり，常に恐れることなく実社会における様々な困難に立ち向かっていける人材を育成。

KUGS Kanazawa University "Global" Standard

▶次の**6つの能力・体力・人間力の涵養**を目指す。

| | 独自の「GS科目」31科目として体現 |
|---|---|
| 1．自己の立ち位置を知る | ・現代世界への歴史学的アプローチ<br>・ケーススタディによる応用倫理学<br>・地球生物圏と人間　など |
| 2．自己を知り，自己を鍛える | ・哲学（自我論）<br>・パーソナリティ心理学<br>・エクササイズ＆スポーツ実技　など |
| 3．考え・価値観を表現する | ・クリティカル・シンキング<br>・価値と情動の認知科学<br>・芸術と自己表現　など |
| 4．世界とつながる | ・金沢・能登と世界の地域文化<br>・異文化体験<br>・グローバル時代の国際協力　など |
| 5．未来の課題に取り組む | ・科学技術と科学方法論<br>・環境学とESD<br>・現代社会と人権　など |
| 6．新しい社会を生きる（R3 新設 STEAM教育の拡充） | ・インテグレーテッド科学<br>・ＡＩ入門<br>・デザイン思考入門　など |

○共通教育における1,100以上の科目を全て見直し，31のGlobal Standard科目（GS科目）に刷新！
○それぞれ独自の教材を作成・活用し，アクティブラーニングも推進！

**大学の国際化・グローバル化の「金沢大学モデル」を確立**

組織改革

**国際基幹教育院の創設** H28.4

KUGSに基づく教育を実践するため，共通教育を推進する主体部局として創設。教育全体の高度化と国際化を牽引。

### 国際基幹教育院

大学全体の教育の司令塔として，専任教員を配置

➢KUGSを基軸とした教育を実現するための組織として設置

半数を専任教員，半数を各研究域等からのローテーション教員とすることにより，責任体制の強化と組織活性化の両立を実現

- ＧＳ教育部門：GS科目等の開発・実施
- 外国語教育部門
- 国際教育部門
- ﾘﾒﾃﾞｨｱﾙ・基礎科目教育部門

Skill UP Center
スキルアップセンター
教員の教授法の訓練

総合教育部
一括入試入学の学生所属(1年次)

# 金沢大学が育成する人材像の策定

金沢大学 KANAZAWA UNIVERSITY

**金沢大学憲章で掲げる教育目標**

**専門知識と課題探求能力，さらには国際感覚と倫理観を有する人間性豊かな人材の育成**

具体化

H26～ **金沢大学＜グローバル＞スタンダード（KUGS）**

KUGS Kanazawa University "Global" Standard

人類の一員としての自己の使命を国際社会で積極的に果たし，知識基盤社会の中核的なリーダーとなって，常に恐れることなく現場の困難に立ち向かっていける**５つの能力・体力・人間力**を備えた人材を育成する。

## １．自己の立ち位置を知る

鋭い倫理観と科学的知見をもって，人類の歴史的時間と地政学的空間の中に立つ自己の位置，自己の使命を主体的に把握する能力

## ２．自己を知り，自己を鍛える

自己を知り，その限界に挑戦し，知的冒険心と心身の鍛錬を通して常に自己の人間力を磨き高めていく能力

## ３．考え・価値観を表現する

倫理的構成力や言語表現力を駆使して概念やアイデアを明確に表現し，かつ自己の感性や価値観を的確に他者に伝える能力

## ４．世界とつながる

他者への深い共感に基づいて異文化と共生し，各人にとっての自国と郷土の文化への自覚と誇りを持って，世界と積極的につながっていく能力

## ５．未来の課題に取り組む

科学技術の動向，自然環境変動，持続可能性などの多角的視座から地球と人類，国際社会と日本の未来を総合的に予測し，未来の課題に取り組んでいく能力

## ６．新しい社会を生きる

R3 新設 STEAM教育の拡充

Society 5.0において，幅広い分野や考え方を俯瞰して異分野をつなげる力と新たな物事にチャレンジするマインドを備え，多様な他者との協働により未来の社会的課題を解決に導くための能力

**大学の国際化・グローバル化の「金沢大学モデル」を確立**



# KUGSに基づくカリキュラム改革と科目の開発

金沢大学 KANAZAWA UNIVERSITY

## ＧＳ科目とは・・・

・KUGSの教育目標で示された具体的な能力を獲得するために設定された科目群
・共通教育における1,100以上の科目を全て見直し，そのうち「総合科目」，「テーマ別科目」，「一般科目」を**31のGS科目**に集約
・**１群～６群で計15単位を修得**

## 金沢大学〈グローバル〉スタンダード

New

| 基準１ | 基準２ | 基準３ | 基準４ | 基準５ | 基準６ |
|---|---|---|---|---|---|
| 自己の立ち位置を知る | 自己を知り，自己を鍛える | 考え・価値観を表現する | 世界とつながる | 未来の課題に取り組む | 新しい社会を生きる |
| 科学的世界観<br>批判的思考力<br>歴史的洞察力<br>地政学的洞察力<br>規範意識 | フィロソフィー<br>アイデンティティー<br>健康増進<br>心身の成長<br>克己 | 論理的構成力<br>物語力<br>言語表現力<br>感情表出力<br>創造的形象力 | 共感・歴史観<br>日本文化・金沢文化理解<br>異文化理解<br>国際関係の理解<br>国際ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ力 | 想像力・創造力<br>情報分析力<br>総合的判断力<br>蓋然性<br>持続可能性 | デジタル革新力<br>人間拡張力<br>データリテラシー<br>メタ解析力<br>課題解決力 |

科目修得による６つの学習成果

GS科目一覧

| 2単位以上 | 2単位以上 | 2単位以上 | 2単位以上 | 2単位以上 | 3単位 |
|---|---|---|---|---|---|
| 「現代世界への歴史学的アプローチ」<br>「グローバル時代の政治経済学」<br>「グローバル時代の社会学」<br>「ケーススタディによる応用倫理学」<br>「地球生物圏と人間」 | 「哲学（自我論）」<br>「パーソナリティ心理学」<br>「グローバル時代の文学」<br>「健康科学」<br>「細胞・分子生物学」<br>「エクササイズ＆スポーツ　実技」 | 「クリティカル・シンキング」<br>「価値と情動の認知科学」<br>「芸術と自己表現」<br>「スポーツ科学」 | 「金沢・能登と世界の地域文化」<br>「日本史・日本文化」<br>「異文化間ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ」<br>「異文化体験」<br>「国際社会とボランティア」<br>「グローバル時代の国際協力」 | 「科学技術と科学方法論」<br>「統計学から未来を見る」<br>「環境学とＥＳＤ」<br>「生活と社会保障」<br>「現代社会と人権」 | 「ｲﾝﾃｸﾞﾚｰﾃｯﾄﾞ科学」<br>「AI入門」<br>「情報の科学」<br>「デザイン思考入門」<br>「論理学と数学の基礎」 |

具体的な科目構成

独自の教材を作成・活用！

# KUGSの理念に基づく入試改革と高大連携

金沢大学 KANAZAWA UNIVERSITY

## ①入試改革

**学域学類性の特色である経過選択制（Late Specialization）の実質化と強化，異分野融合研究の推進に求められる資質の醸成を図るとともに，金沢大学での学びに意欲ある学生の受け入れを推進。**

**H30年度入試**

- 後期日程試験において，**文系一括・理系一括入試**を導入
- 工学系分野横断型の興味を抱く学生の受入れを推進するため，**理工3学類前期一括入試**を導入

**R3年度入試**

- 志願者の思考力・判断力・表現力や他者との協働性を総合的に評価する，**多彩な選抜方法を備えた独自の入試**を導入
- 後期日程を廃止し，**本学で学びを深めたい，意欲ある学生の入学チャンスを拡大。**

| 令和２年度　入学者選抜 | | 令和３年度　入学者選抜 | |
|---|---|---|---|
| 一般入試 | 前期日程・後期日程（文系・理系後期一括入試を含む） | 一般選抜 | ・前期日程（一括入試を含む） |
| AO入試 | | 特別選抜 | ・ＫＵＧＳ特別入試（総合型選抜，学校推薦型選抜，英語総合選抜）<br>・超然特別入試（A-lympiad選抜，超然文学選抜）<br>・薬学類・高大院接続入試<br>・在外留学生推薦入試<br>・社会人選抜<br>・帰国生徒選抜<br>・国際バカロレア入試<br>・私費外国人留学生入試 |
| 推薦入試 | | | |

## ②高大連携

### KUGS高大接続プログラム

・高校生等を対象に，セミナー等様々な探求的学びの機会を提供。

- KUGS Liveセミナー
- KUGS Webセミナー
- KUGSラウンドテーブル

### 金沢大学コンテスト　未来を拓く高校生コンテスト

・未来を切り拓く高校生の活躍・挑戦を後押しするため，**高校生の特異な才能を見出す本学独自のコンテスト**を実施。

**超然文学賞**

「言葉の力」「文学の力」を用いてさまざまな分野で活躍し，未来を切り拓く志を持つ人材の努力と才能を称え，励ますことを目的とした文学コンテスト。小説と短歌の２部門。

**日本数学A-lympiad**

地理学的問題や医療問題，環境問題など現実に起こりうるさまざまな世界的課題を背景とした英文問題に対して，数学の力を駆使して社会にとってより良い解決案を競う数学コンテスト。最優秀賞・優秀賞の2チームを世界大会「Math A-lympiad」に日本代表として派遣。

### 次世代の科学技術を担う人材育成　R２年度からは第２期スタート！

**ジュニアドクター育成塾**

北陸3県の小・中学生を対象に，「科学・技術の研究に関心をもち，進んで科学・技術に関する基本的な知識・技能を学び，それらを活用した探求にあきらめずに挑戦していく子ども」への育成。

**未来の科学・技術を担う探究意欲と科学を楽しむ心をもった子どもの育成**

**グローバルサイエンスキャンパス（GSC）**

高校生を対象に，物事を多面的にとらえ，既存分野に留まらずに国際的視野をもって科学技術研究を強い意志で試行できる人材を育成

**世界でかがやく科学技術イノベーション人材の育成**



# 特色を生かした，社会のニーズに応じた人材育成

金沢大学 KANAZAWA UNIVERSITY

## 学域学類制の深化と分野融合教育の進展

**地域や大学の特色を活かし，時代や社会の動向・ニーズに応じた組織再編により，社会の変化に対応し，学問領域の壁を越えた幅広い知識と能力を有する人材を養成。**

**H20**　８学部２５学科・課程を**３学域16学類**に改組

**H30**　今日的な課題に対応した学類・コースの再編，教育プログラムの刷新により**３学域17学類**に改組

**特色を活かした学類・コースの創設**

・金沢大学の特色を活かした新学類の創設

・金沢大学の特色を活かした新コースの創設
・新たな教育カリキュラムの改革

### 理工学域生命理工学類　創設

石川県の地域特性（沿岸海域）を活かした**海洋生物資源に関する教育**を充実させ，**地域に密着した新技術・新産業を創出できる人材**を育成

### 人間社会学域地域創造学類　新コース創設

「観光学・文化継承コース」を創設し**金沢らしい観光学や伝統資源に関する教育**を新たに提供し，**地域に還元できる人材**を育成

### 理工学域フロンティア工学類　創設

**電子情報工学，機械工学，物質工学の知と技を結集**してナノの世界から宇宙空間までを対象とした様々な未踏領域を切り拓き，**工学の飛躍的発展を牽引**していくエンジニアや研究者を養成

### 医薬保健学域医学類　新カリキュラム

2023年以降，アメリカで医療行為を行う場合には，出身医学部が国際的な認証評価を受けていることが必要なことから**「世界医学教育連盟グローバルスタンダード」の評価項目を踏まえ教育カリキュラム改革**を実施。

**R3**　新たな学域・学類を創設し，**４学域18学類**に改組　**社会的課題の解決に向けた人材育成の加速**

### 融合学域　先導学類

**文理融合型カリキュラムの下，**学生自らの志向に合わせ学びを深めるとともに，アントレプレナーシップを醸成し，**「社会変革を先導する中核的リーダー」**を育成

### 医薬保健学域　医薬科学類

**医学・薬学双方の知見**を併せ持ち，次代の先進医療や画期的新薬開発等のイノベーションにつながる**高度な研究基盤力を身に付けた人材**を育成

**融合学域の新学類として，R4には豊富な地域資源を生かし金沢らしい「観光デザイン学類」を設置，R5にはスマート技術を活用したスマート社会構築を目指す「スマート創成科学類」（仮称）を設置構想中！**

**R2採択**　文部科学省**「知識集約型社会を支える人材育成事業」採択**　融合学域の文理融合教育を全学へ展開するとともに，リベラルアーツ教育やSTEAM教育の強化等により全学的な教育改革を実現。

# “新たな知を創出する人材”育成機能の強化

金沢大学 KANAZAWA UNIVERSITY

## 融合学域先導学類の創設

College of Philosophy in Transdisciplinary Sciences
School of Frontier Sciences and Innovation

令和３年４月開設

**社会的背景**

【第5期科学技術基本計画（2016年1月閣議決定）】
▶ 科学技術イノベーションを「科学的な発見や発明等による新たな知識を基にした知的・文化的価値の創造と，それらの知識を発展させて経済的，社会的・公共的価値の創造に結び付ける革新」と定義
▶ 超スマート社会＝Society5.0を実現し，日本を「世界で最もイノベーションに適した国」へ

新たな「知」の創出に向けた分野融合型教育と社会への展開を見据えたアントレプレナー教育を体系的に行う教育システムを構築。

各界で未踏の科学技術イノベーションを創成し，イノベーションを先導する人材を養成。

（入学定員：55名）

*片寄りのない文理融合エリアの下，自らの志向に合わせて最新知見や科学技術を広く深く学ぶ*

基盤ガイダンス → 融合ガイダンス → 探求ガイダンス → 確立ガイダンス

**学びの計画書Ⅰ**
コア科目における
コアエリアの履修体系を指導

**学びの計画書Ⅱ**
学知科目から鍛錬科目
にわたり履修体系を指導

**学域GS科目**
本学域で共通の専門スキルを必修で学修

**学域GS言語科目**
本学域で共通の実践的な英語運用力を達成目標を持って必修で強化

**課題探査**
社会循環 / 世界共創 / 科学創発
**コア科目**
3つのコアエリアを横断的に学修し，自らが探求する未来課題の方向性を決定する。

**課題探求**
**学知科目**
自ら決定した未来課題について，分野を問わず，より深く探求する。

**実践科目**
社会展開を見据えたアントレプレナーシップの醸成に向け，演習を中心とした科目を体系的に配置。
演習等のグループワークにおいて留学生や社会人等，多様な背景を持つ他者との共創による課題探求を実践。

**鍛錬科目**
他者との共創を通じて，自らの学びを深化させる。

**確立科目**
社会への展開を強く意識した論理展開を学修。
社会展開

**履修・指導アドバイザー 漸次増員による徹底した履修指導**
学修の進度や自身の将来像を見渡しながらオーダーメード型の学びの計画書を作成

**課題発見・解決モデル重視の教育課程**
課題の探査から探求，社会展開へと至る体系的な教育課程を構築

**ダイバーシティ教育環境下での実践的教育**
多様な入試制度を用い，留学生や社会人も含めたダイバーシティ教育環境を構築

**学士（学術）**
Bachelor of Arts and Sciences
本学初

**融合した専門知と鋭敏な飛躍知を併せ持つ社会変革先導人材へ**



# 新たな観光価値をデザインする人材養成

金沢大学 KANAZAWA UNIVERSITY

## 融合学域
（R3.4設置）

▶広範な分野にわたる教養と文理融合の知見を醸成し，課題発見・解決の知を展開
▶地域と世界に貢献し，知識基盤社会の中核的リーダーシップを発揮できるイノベーション人材を養成

*初年度は「先導学類」を設置*

「観光」を再定義し，
その価値をデザインする文理融合教育を行うため
新たに「観光デザイン学類」を設置

・我が国の観光産業の諸課題に関し，
人文・社会・自然科学等の多様な知見を活用しながら解決
・Society 5.0や新たな日常に対応し，
多核連携型の国際観光立国を見据えた新たな観光価値をデザイン

**文理融合型教育**
AI,IoT,DX等の最先端自然科学
ビジネス展開を見据えた社会科学
文化・行動・心理等の人文科学

**バックキャスティング学修**
環境社会探求 / 人間自然探求
共感デザイン / 関係デザイン / 共創デザイン
観光資源の共感創出 / 移動や情報媒体の創出 / 観光空間の創出
**観光価値の創出**

自治体 プロジェクト拠点提供
企業・NPO 実務家の派遣 等

**観光資源の豊富な石川・北陸のフィールドを最大限活用した実践型教育**

観光データ解析演習
観光データの解析・視覚化・考察

創生インターンシップ
企業・自治体・NPOで，就業実践

観光プロジェクト演習
観光・街づくりプロジェクトへの参画

観光ビジネス実践
観光関連企業・NPOで，課題研究を実践

国際インターンシップ
国際企業・国際機関で，課題研究を実践

【こどものまちボンボンタウン】

こどもが主体となってつくる仮想のまちづくりのサポートスタッフに！

【金沢市新竪町地区のまちづくり】
未来像策定への参画

・北陸工芸の祭典への参画
・町家・空き家の改修・活用活動への参画
・伝統工芸を活用した観光企画 等

**観光を基軸としたビジネスを起爆剤に**
新たな観光価値をデザインする人材の活躍
関係人口の増加 / 観光産業の拡張 / 新事業創出

**「スマート・リージョン北陸」の実現へ**
産業・付加価値・雇用の創出 / 労働生産性の向上
AI,IoT,DXの推進 / 移住・定住による人口増加

# 文理融合教育とSTEAM教育の全学展開へ

金沢大学 KANAZAWA UNIVERSITY

R2年度 採択！ 文部科学省 知識集約型社会を支える人材育成事業

## 融合した専門知と鋭敏な飛躍知を持つ社会変革先導人材育成プログラム

Society 5.0に向けてその解決が必要となる社会全体に関する課題と，科学の進歩に伴い生じる課題に対し，**自らの深い専門性を基盤とした広範な教養**と，**文理融合の知識を使って俯瞰的に捉える力**を持ち，多様な専門知をつなげて解決へ導く**領域横断型の社会変革先導人材の育成**を目指すプログラム。

**01** 融合学域先導学類での学び

**02** 先導STEAM人材育成プログラム【対象：全学域】

**03** 全学生を対象としたリベラルアーツ教育の拡充とSTEAM教育の必修化

**04** 教学マネジメントセンターの設置

### 全学生が履修

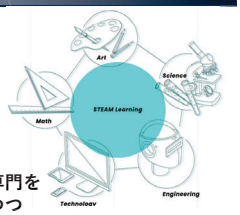
**基幹教育科目GS科目第6群「新しい学問を生きる」**

- Science ：「インテグレーテッド科学」
- Technology & Engineering ：「AI入門」，「情報の科学」
- Arts ：「デザイン思考入門」
- Mathematics：「論理学と数学の基礎」

**専門教育科目「学域GS科目」**

学域俯瞰科目，データサイエンス応用科目
アカデミックスキル，プレゼン・ディベート論

### 先導STEAM人材育成プログラム



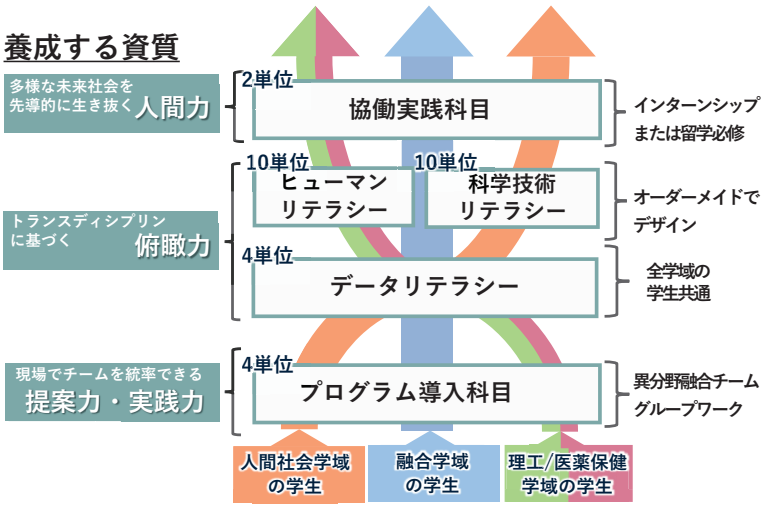

**育成人材像**

融合した専門知と鋭敏な飛躍知を持つ社会変革先導人材

自身の専門を軸としつつ「異分野・異文化協働」にフォーカス

異分野・異文化協働で社会的課題を解決 先導STEAM人材

### 養成する資質






# 大学院教育の高度化

金沢大学 KANAZAWA UNIVERSITY

## 高い専門性と分野融合の学知を有し，新たな価値を創造できる，社会や産業界に求められる研究者人材の育成

**H28.4設置 先進予防医学研究科**
先進予防医学共同専攻
0次予防から3次予防まで包括した「個別化予防」を実践できる人材を育成
千葉大学・長崎大学との共同教育課程

**H28.4設置 教職実践研究科**
教職実践高度化専攻
教育理論・実践力・応用力を備え，学校の管理運営において指導的役割を果たす中核的教員を養成

**H30.4設置 人間社会環境研究科**
地域創造学専攻
「チーム学校」
教員 ＋ 児童生徒をサポートできる専門家

**R2.4設置 法学研究科**
法務専攻（専門職学位課程）
法学・政治学専攻（M）
具体的な出口（進学・就職）までの道筋を明確に区分。「法」を基軸とする１つの大学院を設置

**R30.4 M設置 R 2.4 D設置 新学術創成研究科**
融合科学共同専攻
社会実装までを見据え課題解決に取り組むことのできる科学技術イノベーション人材を養成
北陸先端科学技術大学院大学との共同教育課程

**R4.4改組予定 自然科学研究科**
H30年度に改組した理工学域５学類の学年進行に対応し，博士前期課程の専攻を６⇒７専攻に再編

### WPI拠点であるナノ生命科学研究所における世界最先端の研究を大学院教育に還元

**R1.8採択 ナノ精密医学・理工学卓越大学院プログラム**
「がん，生活習慣病，脳神経病，微小粒子・ナノ材料による疾患」に対し，分野を横断する知見を有し，ナノ技術を活用して革新的予防・診断・治療法を担う健康課題解決人材を育成
- ●技術に強いナノ精密医学プロフェッショナル
- ●医学に強いナノ精密理工学プロフェッショナル

**R2.4設置 新学術創成研究科ナノ生命科学専攻 M/D同時設置**
物理・化学・生物・薬学・医学といった既存の学問分野の枠組みを超越したカリキュラムにより，世界最先端のナノ計測・制御を生命科学・物質化学分野に展開し，未踏ナノ領域を切り拓くための研究人材を養成

### 卓越分野の先鋭化と分野融合研究の推進を両輪とした研究力強化

**H27.4設置 新学術創成研究機構**

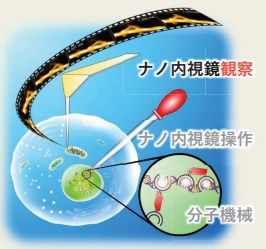
金沢大学に優位性のある研究の更なる強化，学問分野融合型研究の一層の進展および国際頭脳循環の継続的拡充を一体的に推し進めることにより，革新的な研究成果を生み出し，**新しい学問分野・学問領域の創成につながる学際的な研究を推進**

- 本学に優位性のある研究プロジェクトを集約
- 研究部門に3コア，16ユニットを編成

がん進展制御研究コア
革新的総合バイオ研究コア
未来社会創造研究コア

**H29.10設置 ナノ生命科学研究所**

世界トップレベル研究拠点プログラム 平成29年度採択
地方中規模大学唯一のWPI拠点




本学が誇る「世界最先端のバイオSPM（走査型プローブ顕微鏡）技術」を核に，**ナノ計測学，生命科学，超分子化学，数理計算科学の４つの研究分野間における異分野融合研究を推進**。
細胞内外に残された未踏ナノ領域を開拓し，生命現象の仕組みをナノレベルで理解することにより，**新学問領域「ナノプローブ生命科学」の創出**を目指す。

**～世界水準の研究拠点形成と，大学院教育の高度化を一体的に推進～**

# 異分野融合による研究者・高度専門技術者人材の養成

金沢大学 KANAZAWA UNIVERSITY

## 大学院新学術創成研究科

平成30年4月創設

複数の専門分野の知見を有機的に結合させる「分野融合」に主眼を置いた大学院課程。
分野融合による新しい学術領域の創成を目的とする。

GRAFiNiti 新学術創成研究科

### H30～ 融合科学共同専攻【共同教育課程】

金沢大学・北陸先端科学技術大学院大学による「共同教育課程」を実施

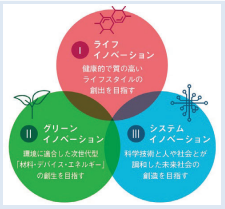
金沢大学 × JAIST

**養成する人材像**

独創的な発想と卓越した研究力により，科学技術イノベーションの基盤を生み出し，社会実装までを見据えて課題解決に取り組むことのできる“高度専門人材”を育成

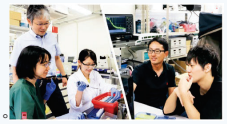
**【背景・特色】**

- ○ **両大学の強み・優位な分野**を相乗的に組合せ
- ○ **課題解決志向型の教育**を重視し，新たな着想や方策を得るため **ラボローテーションを必修化!!**
- ○ 国内外インターンシップや，研究留学をカリキュラムに組込むとともに，石川県内の **企業（産業界）・自治体等とも連携した講義や実習**を積極的に推進



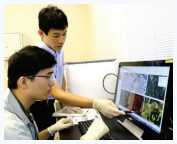

**異なる専門分野の研究に取り組む**
**異分野「超」体験実践Ⅰ（ラボローテーション）**

JAISTを含めた，自身の専門分野と異なる研究室に滞在し，実際に実験的・理論的研究に取り組む科目。
専門を「超」えた幅広い知識やスキルを習得しながら，自身の研究課題を客観的に捉え直し，融合科学の可能性を模索する。



**実社会における研究の展開を学ぶ**
**インターンシップ・海外研究留学**

国内外の民間企業や公的研究機関等でのインターンシップ，海外への研究留学を通じて，研究課題に対する異なる視点からのアプローチを学ぶ。
研究シーズが実際の現場でどのようにビジネスとして成立しているか，イノベーションに結び付いているかを体得。



⇒ 優秀な人材（学生・研究者）を地域へ集積，地域から世界に優秀な人材を輩出

### R2～ ナノ生命科学専攻

**養成する人材像**

あくなき探求心と人・科学・社会に貢献する高い志を持ち，世界最先端のナノ計測・制御を生命科学・物質科学分野に展開し，未踏ナノ領域を切り拓くための研究人材を育成

**【背景・特色】**

NanoLSI WPI KANAZAWA UNIVERSITY

- ○ **ナノ生命科学研究所（WPI-NanoLSI）の研究環境や研究プロジェクトを活かした教育研究**を実施
- ○ 物理・化学・生物・薬学・医学といった**既存の学問分野の枠組みを超越**したカリキュラムを構築



# 大学院の高度化　～卓越大学院プログラム～

金沢大学 KANAZAWA UNIVERSITY

## ナノ精密医学・理工学　卓越大学院プログラム　R1採択

人類社会の課題である「がん」「生活習慣病」「脳神経病」「微小粒子に起因する疾患」「ナノ材料に起因する疾患」の5つにターゲットを絞り，ナノレベルでの理解・制御による革新的予防・診断・治療法の創出を担う「**技術に強いナノ精密医学プロフェッショナル**」「**医学に強いナノ精密理工学プロフェッショナル**」の育成を目的とした5年一貫の博士課程（4年制医学博士課程を含む）学位プログラム

**融合イノベーション創出に向けたカリキュラム**

**ナノ技術を活用できる健康課題解決人材**
●医学と理工学のマルチディシプリン　●現場熟知のスペシャリスト　●Hub的な知のプロフェッショナル

＜博士課程＞
4年制　5年制

博士号 ＋ NanoLSI アソシエイト

| 4年制 | 5年制 | |
|---|---|---|
| 4年目 | 5年目 | 専門コース課程 第1メンター＋第2メンター |
| 3年目 | 4年目 | |
| 2年目 | 3年目 | |
| 1年目 | 2年目 | プログラム基盤課程 第1メンター |
| | 1年目 | |
| 入学前 | | |

各コース
- ナノ先制医学
- ナノ脳神経学
- ナノ環境科学
- ナノ診断開発

- インターンシップ・海外留学
- ナノ科学融合実践演習
- 各専門科目

Nano Qualifying Examination

- ナノ科学概論
- イノベーション・マネジメント論
- 数理・データサイエンス概論
- ラボ・ローテーション

プレプログラム 講義・演習

国際的視野 高度な専門性を 身につける

俯瞰力 独創力を 養う

ビジョンを 共有する

**海外**
- Imperial College London
- Univ. of British Columbia

**企業**
ファイザーR&D
ニコンインステック
富士フイルム和光純薬
浜松ホトニクス
リコー
ダイセル
オリンパス

先進予防医学研究科　医薬保健学総合研究科　自然科学研究科　新学術創成研究科

# 徹底した大学院教育改革の断行

**卓越大学院プログラム，大学院新学術創成研究科の異分野融合・異分野協働の取組を土台として**
**その成果を全学に展開し，徹底した大学院教育改革を断行し，大学の研究力強化を促進**

## 大学院の質的・量的拡充を目指し，大学院教育改革を断行し，学生・教員の意識改革を図る。

**異分野融合改革その❶**
全研究科を横断した共通開設科目
大学院GS基盤科目・大学院GS発展科目
の開設

**異分野融合改革その❷**
所属専攻と異にする研究室での
ラボローテーションを必修化

**その他改革❸**
博士後期課程進学希望者には
QEによる修了審査を原則とする

**学士課程**
研究者としての
未来を意識付け

**博士前期課程**
広範な教養と深い専門性
博士論文基礎力を涵養

**博士後期課程**
新たな価値創造
イノベーション創成

学域GS科目
共通教育GS科目

新設 大学院GS
基盤科目

新設 大学院GS
発展科目

**養成人材**
高い専門性と研究者に必須の素養を持ち、
分野の壁を突破力で乗り越え、
未知の領域に果敢に挑戦し、
新たな価値を創成し
イノベーションを先導する
卓越した次世代の博士研究人材

| | 修士・博士前期課程 | |
|---|---|---|
| 大学院GS基盤科目 | 異分野研究探査 | 研究者倫理 |
| | 知識集約型社会とデータサイエンス | 次世代の先端科学技術 |
| | スマート創成科学 | イノベーション方法論 |
| | 人間と社会の課題 | 技術経営論 |
| | 破壊的ｲﾉﾍﾞｰｼｮﾝに向けた技術経営論 | メディカル・イノベーション |

| | 博士・博士後期課程 | |
|---|---|---|
| 大学院GS発展科目 | 次世代研究者倫理 | |
| | 次世代エッセンシャル実践 | |
| | 次世代イノベーション開拓 | |
| | 国際研究実践 | |



# 未来創成教育環の設置　＜R4.4＞

**教育改革の加速に向けた課題**
- 入学前から卒業・修了後の生涯にわたり，個々の学生を一人もとりこぼさず，連続的に支援し続ける学生主体の新支援体制が必要
- 各部局・部署における教育改革・学生支援を，連携強化し統合的に推進する全学組織が教育改革の更なる飛躍に不可欠

**これまでの主な成果**
全国の大学を先導する
先進的な教育改革を継続

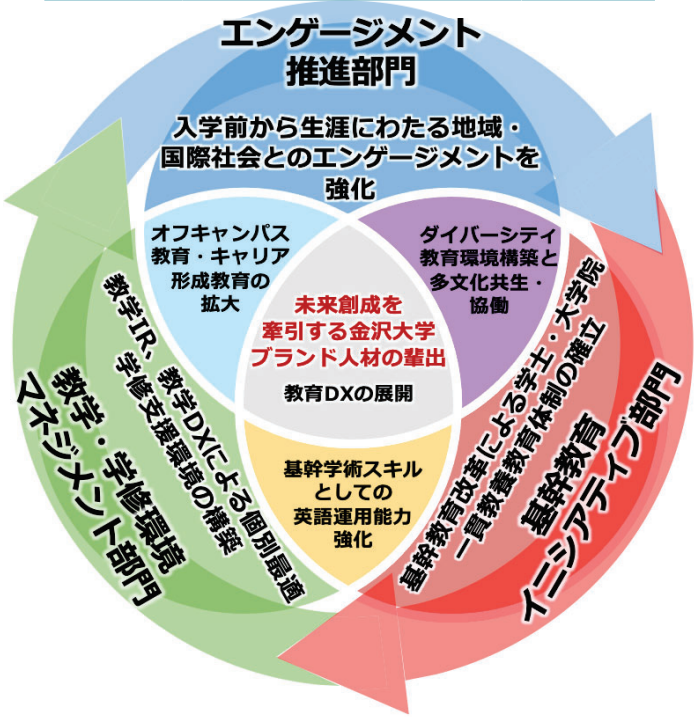
文理融合型教育の推進
- ☑全学生PC必携，ICT教育開始(H18)
- ☑学域学類制の導入(H20)：学部の壁廃止
- ☑新学術創成研究科融合科学共同専攻（JAISTとの共同課程）設置(H30)
- ☑新学術創成研究科ナノ生命科学専攻（WPI若手育成）設置(R2)
- ☑融合学域設置(R3)：社会変革先導人材
- ☑「知識集約型社会を支える人材育成事業」採択(R2):STEAM教育開始

徹底した基幹教育改革
- ☑金沢大学＜グローバル＞スタンダード制定(H28)
- ☑国際基幹教育院設置とGS科目を中心とした共通教育科目の体系化(H28)

教育のグローバル化促進
- ☑スーパーグローバル大学事業(H26)
- ☑英語による授業科目の割合増加
- ☑ELPセンター設置/英語力強化(H27)
- ☑混住型学生留学生宿舎の設置(H24)

特色ある入試改革
- ☑一括入試（文系・理系）開始(H30)
- ☑KUGS特別入試/超然特別入試(R3)
- ☑主体性を重視した入試への転換(R3)

**未来創成教育環**
全学の教育改革エンジンを統合・結集し，
学長の下に本学の教育改革の抜本的飛躍を担う新たな組織
各学部・研究科，学内の組織及び学外のステークホルダーとの連携強化を全学的に統合して行い，的確かつ迅速な教育改革を推進加速する
3部門と7つのミッション




**教育改革加速の方向性**
- 教育改革を学生を中心軸として捉え直し，自主的・主体的な学び及び学修者本位の教育を実現する
- 個別最適学修支援を確立し，学生を主体とした抜本的教育改革を断行
- 「人材育成」から「自ら育む環境構築」へ
- 教育と学修環境DXの推進
- 社会と相互作用する共創教育の拡充
- 教育リソースの社会への開放，仮想大学へ

**期待される成果**
未来創成を牽引する
金沢大学ブランド人材の輩出
専門知識と課題探求能力，国際感覚，倫理観を有する人間性豊かな人材
- 意欲ある多様な学生の集積とダイバーシティ環境下の教育によるグローバル人材輩出
- 融合した専門知と鋭敏な飛躍知を併せ持つ「尖塔人材」輩出
- 持続的な社会変革・地方創生を担う人材の恒常的な輩出
- 広い視野と融合知を備えた博士人材の増加
- 最先端研究の推進により地球規模の課題解決人材の輩出
- 教育DXの推進と社会への開放・リカレント教育の拡充

入学前から生涯にわたる各ステージでの個別最適学修支援により，グローバルに活躍する人材や地方創生に寄与する多様な「知のプロフェッショナル人材」を輩出

# 未来創成教育環の概要

学長

## 未来創成教育環

運営委員会　委員：学長（委員長）教育担当理事，各部門長，各学域・研究科の代表

### エンゲージメント推進部門

入学前から生涯にわたる地域・国際社会とのエンゲージメントを強化

Mission 1

**高大接続Pと特別選抜入試拡充による入学者の多様性の加速**

- 特別選抜入試入学定員の30%への拡大とリメディアル教育の整備
- 高大接続教育の英語化・デジタルコンテンツ化による多様な入学者の獲得
- 国際共同学位（コチュテル）プログラムの開始

北陸未来共創フォーラム（産官学金連携）

海外教育機関・研究機関との連携

Mission2

**地域や各界との連携によるオフキャンパス教育・キャリア形成教育の拡大**

- 自治体・企業等と連携したインターンシップ・キャリア形成科目の充実
- DX教材を活用したリカレント教育・大学院教育の社会への開放，他機関との教材相互利用の促進

### 教学・学修環境マネジメント部門

教学ＩＲ，教学DXによる個別最適学修支援環境の構築

Mission 3

**教学マネジメント体制の高度化と個別最適学修支援システムの構築**

- 個々の学生の多様な学びに関する情報を統合したエンロールメント・マネジメント・システムを構築し，教学IR・ラーニングアナリティクスによる個別解析結果を提供し，学生自身の決断を支援
- 個々の学生に最適な学び・プログラム参加をアドバイザーやAIが提案

学術メディア創成センターとの強固な連携よる教育DXの推進

Mission 4

**英語教育の高度化による基幹学術スキルとしての英語運用能力の強化**

- 学術スキル企画部を設置し，4・6年一貫の基幹学術スキルカリキュラムを構築・運用
- 効果的な高学年次の英語教育プログラムを開発し，豊かな国際感覚と英語の実運用能力を醸成

### 基幹教育イニシアティブ部門

基幹教育改革による学士・大学院一貫教養教育体制の確立

Mission 5

**一貫型基幹教育プログラムの展開による文理融合・STEAM教育の推進**

- 一貫した基幹教育を担当するGS教育企画部を創設し学士から大学院博士後期までの「教養」教育改革を推進
- 博士前期・後期課程一貫研究者育成プログラムによる自立した研究者育成・キャリア教育の推進

海外教育機関・研究機関との連携

Mission 6

**仮想大学構想を視野に入れた教育DXの推進と社会への開放**

・全学DX推進コアとして学術メディア創成センターの設置（R3年度先行取組）・発展型デジタル教材開発の環境整備　・デジタル化教材による仮想大学構築

Mission7

**ダイバーシティ教育環境の構築による多文化共生・協働能力の涵養**

・国際教育企画部を創設し留学生と日本人学生が共に学び合う環境と多文化教育プログラムを提供

入学前から生涯にわたる個別最適学修支援を確立し，専門性の深化と文理融合を併せ持つ学修者本位の教育を実現



# ご清聴ありがとうございました

日本の未来を切り拓く，
次代を担う人材が輩出されること
を心から期待します。